

農業委員会だより



よさの

第43号 R4.9発行

編集発行

与謝野町農業委員会

広報編集委員会

〒629-2498

与謝郡与謝野町字加悦433番地
(加悦庁舎2階)

TEL : 0772 - 43 - 9023 (直通)



収穫を待つ稲穂



田園で羽を休めるコウノトリ

【目次】

令和4年度さくら功労者表彰	2
オオシマ桜の初収穫	2
市町村・地域自治功労者表彰	2
YOSANO HOP&BEER CAMP in 旧与謝小学校・保育園	3
与謝野ホップが世界大会で金賞・銀賞を受賞	3
活動組織の広域協定締結	3
認定農業者会と町長の懇談	4
編集後記	4

令和4年度さくら功労者表彰

さくらの植栽、愛護、研究、その他さくらの振興事業に取り組み、顕著な功績があった団体・個人を表彰する「令和4年度さくら功労者表彰式」が衆議院議長公邸（東京都）で4月20日に開催され、町内から、温江中山間地委員会（青木順一代表）と京都よさの百商一気合同会社（小長谷建代表）の2団体が「さくら功労者」として表彰されました。

温江中山間地委員会は平成13年に温江川沿いに約200本の桜を植樹され、オーナー制度を導入するなどして、長年にわたり、さくらの育成や保護に尽力されていること、また、京都よさの百商一気合同会社は、平成29年に桜プロジェクト決起集会を開催し、与謝野駅周辺に約300本の桜を植樹するとともに、昨年には見る桜から食べる桜の開発にもチャレンジするなど精力的に活動されていることがそれぞれ高く評価されました。今後の更なるご活躍が期待されます。



（左から）
小長谷代表 山添町長 青木代表



収穫作業



選別作業

オオシマ桜の初収穫

6月12日、下山田地区のは場で、京都よさの百商一気合同会社が栽培しているオオシマ桜の初収穫が行われました。当日はオオシマ桜の産地である静岡県西伊豆で桜の葉を生産加工する会社から講師を招き、桜の葉の収穫から、収穫した葉を加工場に持ち帰り、洗浄、選別、塩漬けといった出荷までの一連の工程を学ばれました。

特にどの程度の葉っぱ（穴あき、虫食い、クズ等）が出荷可能なかの判断が難しいようで参加者の方は入念に確認をされていました。出荷先の関係者からも京都産ということでブランド価値があると大きな期待が寄せられていました。

市町村・ 地域自治功労者表彰

6月17日に府民ホールで京都府開庁154周年記念式典が開催され、よさの三四の森の会が市町村・地域自治功労者表彰を受賞されました。

よさの三四の森の会は放置された森林での間伐等の整備作業や町内での間伐材の薪利用など、森林資源の循環利用に取り組みとともに、子どもたちへの森林保全の必要性を教える等の活動がされており、この功績が高く評価されました。今後の益々のご活躍を祈念いたします。



市川会長（左から3人目）と会員の皆様

YOSANO HOP & BEER CAMP in 旧与謝小学校・与謝保育園



ホップの摘み取り

7月23日、24日に京都市与謝野ホップ生産者組合主催の与謝野ホップビアキャンプが快晴の中、旧与謝小学校・与謝保育園で開催されました。今回、初めて開催されるイベントでしたが、会場ではテントサウナをはじめ、藍染め、けん玉等のコーナーやキッチンカーもかけつけて、賑やかな雰囲気になりました。また、参加者は近くのは場でホップの摘み取りを体験した後に与謝野ホップを使用したビールを飲みながら、各自が用意されたテントを張ってキャンプを堪能されました。会場内はたくさんの笑顔で溢れ、大いに盛り上がりました。



キャンプ会場いっぱいのテント



賑わいをみせる会場

与謝野ホップが世界大会で金賞・銀賞を受賞

世界的に権威のある「オーストラリアン・インターナショナル・ビア・アワード」で与謝野ホップを使用した「Grand Cru～京都・ゴールデンエールスタイル～」と「YOSANO Juicy Hop」が金賞、「京都 YOSANO IPA」が銀賞を受賞しました。何れも京都スプリングバレーブルワリーで醸造されたビールで、与謝野ホップが世界で評価されたことはとても名誉なことです。



与謝野ホップ産ビール

人材や知識を提
供し合い、
組織力を
強化する
ことにより
活動の維
持・発展
が期待さ
れます。



設立委員会の様子

6月7日、元気館で与謝野町広域協定設立委員会が開催されました。多くの地域が農地や水路等の地域資源の保全に活用している多面的機能支払交付金の事務処理では、高齢化、農家減少等の理由から地域集落でも人材不足が問題となっています。今回、事務の効率化や組織体制の強化に賛同した6活動組織が協定を締結いたしました。それぞれの組織の

活動組織の
広域協定締結

認定農業者会と町長との懇談

7月26日、加悦庁舎元気館で認定農業者の方と町長との懇談会が開催されました。長引くコロナや燃油・資材等の高騰により、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている中、会員からは京の豆っこ肥料の安定供給や改良、資材高騰に対する補助、新規就農者や担い手に対する支援策等に関する要望や意見がありました。



懇談会の様子

農業者年金で老後の生活を安全サポート

農業者年金は3つの要件を満たせば、どなたでも加入することができます。

加入要件 ①20歳以上から60歳未満の方

②国民年金第1号被保険者（保険料免除者を除く）

③年間60日以上、農業に従事している方

保険料 月額2万円から6万7千円まで千円単位で選択することができます。

特徴 ★少子高齢化時代に強い積立方式の確定拠出型年金です。

★終身年金で、80歳前にお亡くなりになった場合には、死亡一時金を遺族の方にお支払いします。

★公的年金ならではの税制上のメリットがあります。

京都府立農業大学校 令和5年度学生募集

京都府立農業大学校では、豊かな自然に囲まれた環境の中で、農業の担い手、農業後継者を養成しています。農業に従事する意欲ある学生を募集しています。

願書受付期間及び試験日

推薦 受付 令和4年9月20日（火）から10月4日（火）

試験 令和4年10月28日（金）

前期 受付 令和4年12月1日（木）から12月14日（水）

試験 令和5年1月12日（木）

後期 受付 令和5年1月20日（金）から2月1日（水）

試験 令和5年2月17日（金）

*詳しいことは京都府立農業大学校までお問合せください。

☎0773-48-0321



委員長 大内 裕揮
副委員長 小田 則子
委員 成毛 義信
森垣 幸一郎
大原 貞一
木村有紀子

広報編集委員

（森垣 幸一郎委員）

この歳で二年生、農業委員。知らないことばかりで、一日、二ヶ月が過ぎるのが早い。ここ近年、昨年のことと今年のこと何事につけ合致しない。コロナ禍は、収束にはほど遠く、まだまだ続くようです。自然界の人間一人なんて…。農道や土手、法面の草を横目で見ながら「貴方は強い」と思わずため息が…。そんな中、作付けの現地を見に参加した時、今年は米価が少し戻るらしいと嬉しい話を聞いた。昨年、安くなった分が戻ると自分で決めて嬉しくなる。すると、隣の人がボンボン「肥料も農薬も高くなるので何ともならん」と。時代が変わっても苦しい、しんどい、重労働に変わりのない農業。せめて、孫が、セミやホタルと同じちゃんの農業姿の夏を、思い出しにしてくれるようにと、明日も草と勝負する。

編集後記